

平成 28 年度第 3 回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 28 年 12 月 17 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 24 名中 20 名出席
千葉市保健福祉局地域福祉課 2 名、事務局 7 名（緑保健福祉センター長、
高齢障害支援課 3 名、地域福祉課 1 名、社協緑区事務所 3 名）

【次 第】

- 1 開会
- 2 報告
 - (1) 活動報告（千葉市身体障害者連合会）
 - (2) おゆみ野地区小学校の余裕教室の活用について
- 3 議題
 - (1) 平成 28 年度 緑区支え合いのまち推進計画進捗状況報告
 - (2) 広報紙「みどりのきずな第 30 号」の承認について
- 4 ミニ講座
- 5 グループワーク
- 6 その他
- 7 閉会

【議事及び質疑要旨】

報告（1）活動報告

千葉市身体障害者連合会についての活動報告

主な発言内容は以下のとおり。

（廣 田 委 員）千葉市身体障害者連合会として、小学校や中学校から講話依頼があり、対応してきた。今年の 3 月に千葉市がオリンピック・パラリンピックへの方向性として多様性に向けた街づくりとして、福祉講話の実施を計画に盛り込んだ。身体障害者連合会もその趣旨に賛同し、福祉講話の内容について協議が始まっている。まず障害者への理解という項目の中で種類と程度について話すことにしている。知的・身体・精神の障害別に当事者が困ることや、コミュニケーションの仕方も具体例を盛り込んで話すようにしている。また普段の生活についても話すようにしている。悲観的な事や愚痴についてはあまり話さないように気を付けることにしている。誰がどの学校に行っても一定の話ができるようにマニュアルを作成している。福祉講話についての要望を聞いた際は、ハーモニープラザ 3 階にある連合会事務所に連絡してほしい。

報告（２）おゆみ野地区小学校の余裕教室の活用について

主な発言内容は以下のとおり。

- (松戸副委員長) おゆみ野地区では小学校の余裕教室でシニアリーダー体操を始めている。今年の４月に教育委員会と協議を始めた。おゆみ野地区にある６つの小学校の状況を確認し、１０月から有吉小学校を借りることができた。おゆみ野地区では９ヵ所の会場で始めている。みずき・かつら街集会所では１０人程度の高齢者が毎回参加している。泉谷小学校でも来年１月から月２回のペースで始めることにしている。高齢者のひきこもり対策にもなる。学校を借りるために光熱費として年３,０００円掛かる。
- (岡本委員長) 質問が２つある。学校を借りられる時間帯は決まっているのか。
- (松戸副委員長) 土曜日・日曜日等の９時から２１時が開放時間になっている。
- (中村和委員) シニアリーダー体操についてのビデオはあるのか。
- (松戸副委員長) 講習も受講したシニアリーダーがいるし、体操の映像もある。
- (岡本委員長) 管理は誰がしているのか。また余裕教室を借りたい場合はどうすればいいか。
- (松戸副委員長) 学校ごとの管理運営委員会が管理している。教育委員会学校施設課に申し出ればいい。

議題（１）平成２８年度 緑区支え合いのまち推進計画進捗状況報告

主な発言内容は以下のとおり。

- (中村委員) おゆみ野地区では１２月８日にいきいきサロンを行った。アコーディオン演奏者を招いて１００名近くの参加者があった。１２月１０日には障害者委員会として年末のお楽しみ会を開催した。泉谷中学校の特別支援学級の参加と落語家を招いて実施した。１２月１３日にはふれあい散歩を行い、約２０名の参加があった。
- (本田委員) 椎名地区では１２月１６日に車いすバスケットの選手を招いて福祉講話を行った。車いすバスケ選手でも高いところの物は取れないということで、声を掛けてもらえると嬉しいといった話が合った。また見守り活動については、古市場団地でアンケートの取り直しについて協議を進めている。
- (茂田委員) サロン活動については、広報活動を続けているため参加者が増えてきている。支えあい活動の実行ということで、来年に自治会・民生委員・地区部会の会合を計画している。
- (鳥山委員) 誉田地区では１２月１０日に連協会議で見守り活動の説明をした。また学校支援事業として誉田中、誉田小、誉田東小を地域住民が学校活動を支援している。書き初めやミシンなどを地域住民がボランティアで生徒に教えるものである。また来月は福島からの避難者に太巻き寿司作りを通じての交流を行う予定でいる。
- (大槻委員) １２月１０日の連協会議で見守り活動を諮った。実際の事例として鎌取町

内会や辺田町内会の説明もあった。これから 3 つの町内会が見守り活動の立ち上げを考えている。学校支援事業については、昨年誉田小学校からスタートした。学校の先生のサポートを地域住民がするもので、毎週木曜日に住民が集まり、昔遊びや物づくりを子ども達に教えている。今年から誉田東小と誉田中学校も始めることになった。

(松戸副委員長) 今回の見守り活動について、連協の会議で実施した経緯をもう少し詳しく教えてほしい。

(大槻委員) 誉田地区内の自治会長は誉田地区部会の関係者なので地区部会研修といった意味もある。

(廣田委員) 椎名地区の車いすバスケの選手の話があったが、高いところの手が届かないといった部分で、エレベーターのボタンは車いすの高さに合わせた配置だったり、銀行ATMの機械も車いす用に使いやすいように工夫されている。そのようなところを先生がサポートしてくれるといいと思う。

議題(2) 広報紙「みどりのきずな第30号」の承認について

主な発言内容は以下のとおり。

(中村和委員) 資料7を見て欲しい。これを1月1日号として発行したいがよろしいか確認したい。配布は1月中旬以降になると思う。意見がある方は、12月22日までに事務局まで連絡してほしい。

ミニ講座について

みずき・かつら街おたすけ隊の説明 田宮副委員長

主な発言内容は以下のとおり。

(松戸副委員長) ボランティアが怪我をした場合はどうするのか。なぜ無料でサービス提供しているのか。

(田宮副委員長) 社協のボランティア保険で対応することになっている。また当初は有料であったが、ボランティアの総意で無料でも良いという方が多かったので無料にした。

グループワーク

(1) 第4期緑区地域福祉計画(平成30年~33年度)骨子説明

(地域福祉課 主査 黒木)

(黒木主査) 第4期千葉市地域福祉計画の策定方針案を見ていただきたい。次期計画は30年度から33年度までの4年間を予定している。内容は29年度に決めていきたい。まず実施状況調査を行う。来年2月10日に第3回の地域福祉専門分科会を行うが、そこで骨子案を示す。地区部会エリアを単位とした重点取組項目を決めることは前回と変わらない。重点取組項目は6区それぞれにバラつきがある。今後の取り

組みはこれから議論していかなければいけない。高齢者の取り組みが多くなっているが、児童や障害分野も幅広く考えていかなければいけない。スケジュールでは来年3月に策定作業を開始するが、緑区では3月の第4回区推進協で計画検討を依頼することになる。6月までに策定していき、7月に素案作成、10月市民説明で考えている。

(岡本委員長) 各地区部会においては、今年度の活動実績をSABCの4段階で評価を進めてほしい。3月の推進協で発表できるようにしてほしい。スケジュールだと3月～6月が計画素案の作成になっている。6月に第1回の推進協を例年行っているが、6月には素案完成なので、3月の推進協には7月までの動きを示すようにしたい。第4期に向かって、地区での重点項目を考える時期に来ている。3期では、3つの地区では見守りを重点にした。おゆみ野地区だけは見守りではなく散歩だった。1つの重点項目に拘らないようにしたい。この後のグループワークでは第4期に向けてのことを話し合ってもらいたい。

テーマ：地区ごとの重点取組項目における「評価と課題」について4地区に分かれてグループワークを行った。

連絡事項

(事務局) 第4回は3月25日(土)午後2時からこの会場で開催する。本日の会議終了後に広報委員会を開催するので広報委員は残ってほしい。

委員長が閉会を宣し、第3回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。